



第11回研究成果発表会を開催 日本建設技術

土木工事や建設コンサルを手掛ける日本建設技術（佐賀県唐津市、原裕社長）は毎年開催する「研究成果発表会」を唐津シーサイドホテルでこのほど開催



した。今年で11回目となる。会場には社内外から約200人が出席、昨年1年間の同社の活動と研究成果に耳を傾けた。

まず原社長が「当社は昨年60周年を迎えた。今後も夢や希望を、挑戦する勇気に変えて、新分野に積極的に進出していきたい」とあいさつした（写真上）。次に同社企画開発戦略本部技術研究所の飯田拓史さんが「クリスタルバイオの硝化反応特性と工学的視点から見た水産養殖施設の設計手法」という題で、その後に林重徳技術戦略本部統括本部長が「有明海再生提案とその展開」の題でそれぞれ講演した。夕刻からは懇親会が行われ、地元選出の保利耕輔衆議院議員や山下雄平参議院議員、坂井俊之唐津市長も訪れた。保利議員は「原社長は頻りに東京に



足を運び、まめに官庁を回っており、素晴らしい活動をなさっていると思う。今後も立派な仕事をなさることを心から願っている」とあいさつした（写真下）。